

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択(/ /)
授業科目名：日本語表現Ⅱ 英語表記：Japanese Language ExpressionⅡ ナンバリング：1004		単位数：1単位 (半期) 演習	担当教員名：山畑昭司 担当形態：単独
科 目／系 列		／	
施行規則に定める科目区分 または事項等／教科目		／	
【授業の到達目標及びテーマ】 1. 「話す」「聞く」「書く」「読む」を中心に、保育にかかわる実践的な日本語力を身につけることができる。 2. 保育者として必要な文章の書き方や表現の基本的事項について学び、他者に伝わる文章を書くことができる。 3. 漢字、敬語、文法、文章表現について、保育者として必要な力を身に付けることができる。			
【授業の概要】 保育者に求められる「他者が読んで分かりやすい文章の書き方」や、発声・発音の仕方等について演習し、様々な観点から保育者に求められる日本語力を高める。			
【学科の卒業認定・学位授与の方針との関連】			関連性
【知識・理解・技能】			
1. 保育・教育に必要な専門的知識を修得している。			○
2. 子どもの心身の発達特性や健康について理解している。			
3. 保育・教育の実践的な技能を身に付けている。			
【思考・判断・表現】			
1. 多面的な視点から問題を解決する対応方策を考えることができる。			
2. 保育者として実行すべきことを実態に照らして判断し、選択することができる。			○
3. 保育・教育の意図やねらいを、保育実践を通して表現することができる。			
【関心・意欲・態度】			
1. 子どもを取り巻く社会の現状に関心を持っている。			
2. 保育・教育に責任感を持って、協働して取り組もうとする意欲を持っている。			○
3. 子どもの権利と最善の利益を尊重する態度を身に付けている。			
【授業計画】 第1回：オリエンテーション、幼稚園前半実習の振り返り 第2回：漢字・慣用句・四字熟語、実習日誌からの漢字50 第3回：漢字・慣用句・四字熟語テスト、課題レポートの書き方 第4回：漢字テスト①、誤りやすい用字用語・慣用句 第5回：漢字テスト②、読み聞かせの基本、読み聞かせ実践練習 第6回：連絡帳やお便り帳の書き方（事実と意見を区別して書く） 第7回：否定的・肯定的な言い方 第8回：否定的・肯定的な言い方（2）、実習日誌からの漢字80 第9回：漢字テスト③、誤りやすい言葉（ら抜き言葉など） 第10回：漢字テスト④、敬語・言葉の使い方 第11回：尊敬語・謙譲語の練習、事実と意見を区別して書く 第12回：実習審査・日本語表現テスト 第13回：話し言葉を書き言葉に 第14回：保育者を目指した志望動機の書き方 第15回：復習とまとめ 定期試験：筆記		【授業時間外の学習】 ＜毎回1時間程度＞ ・復習を兼ねた、小テスト（漢字テスト）のための学習 ・相互読み聞かせの練習	

【授業の方法】 講義と演習（ループ活動）を組み合わせで行う。小テストや授業後に提出するプリントをチェックしフィードバックする。	
【テキスト】 『保育者になるための国語表現』 田上貞一郎著，萌文書林	
【参考書・参考資料等】 適宜プリントを配布する。	
【学生に対する評価】 提出物(小テスト含む)・発表（40%）、試験（60%）を判断し、ループリックを活用して評価する。	
【履修上の注意】 ・主体的に学習に臨むこと。 ・授業の最初に読み聞かせを行う。担当学生は必ず下読みをして準備すること。	
実務経験の有無：有	実務経験：元公立中学校国語科教諭、元県教育局教育事務所国語科担当指導主事
【実務経験を生かした教育内容】 国語科教諭の経験を活かして、学生の実態に合わせた分かりやすい指導で、日本語力の向上を図る。	